

# 福島労働局長が東邦銀行への職場視察を実施しました。

「過重労働解消キャンペーン」の一環として、平成 28 年 11 月 11 日（金）に、福島労働局長（島浦幸夫）が、株式会社東邦銀行（福島市大町 3-25）を訪問し、北村清士頭取との対談、職場視察などを実施しました。

局長と頭取の対談

対談では、北村頭取から、

東邦銀行では働き方改革を進めており、  
具体的には、

○朝型勤務やフレックスタイム制の導入  
などにより、時間外勤務の削減を行っていること

○「業務改革（BPR）プロジェクト」を立ち上げ、仕事の進め方について見直しを進めていること

などとの説明を受けました。



局長から頭取へポスターの贈呈



対談後、局長から頭取へ「過重労働解消キャンペーン」のポスターを贈呈し、過重労働対策の更なる推進について、取組を依頼しました。

## 行員との懇談の様子

行員との懇談では、

- キッズらんど（事業所内保育施設）に子供を預けている行員が、フレックスタイム制を利用し、早帰りして迎えに行っている
- 各支店に出向いて事務の効率化についての意見を聞いた結果、事務書類を減らすなど簡素化が図られたなどの状況を伺いました。



## 局長が職場を視察する様子



最後に、本店総合融資部と本店営業部を視察し、行員から勤務状況について話を聞きました。

職場訪問を終えて局長は、

働き方改革を進めるに当たっては、

○トップが本気で取り組んで強いリーダーシップを発揮すること

○行員にも働き方改革の意識を浸透させ、改善策を行員から吸い上げること

の2つのポイントが必要

とコメントしました。